

# JAPAN HOUSE

---

SÃO PAULO

---

LONDON

---

LOS ANGELES

JAPAN HOUSE 実施報告書

---

2022年3月

---

# JAPAN HOUSE

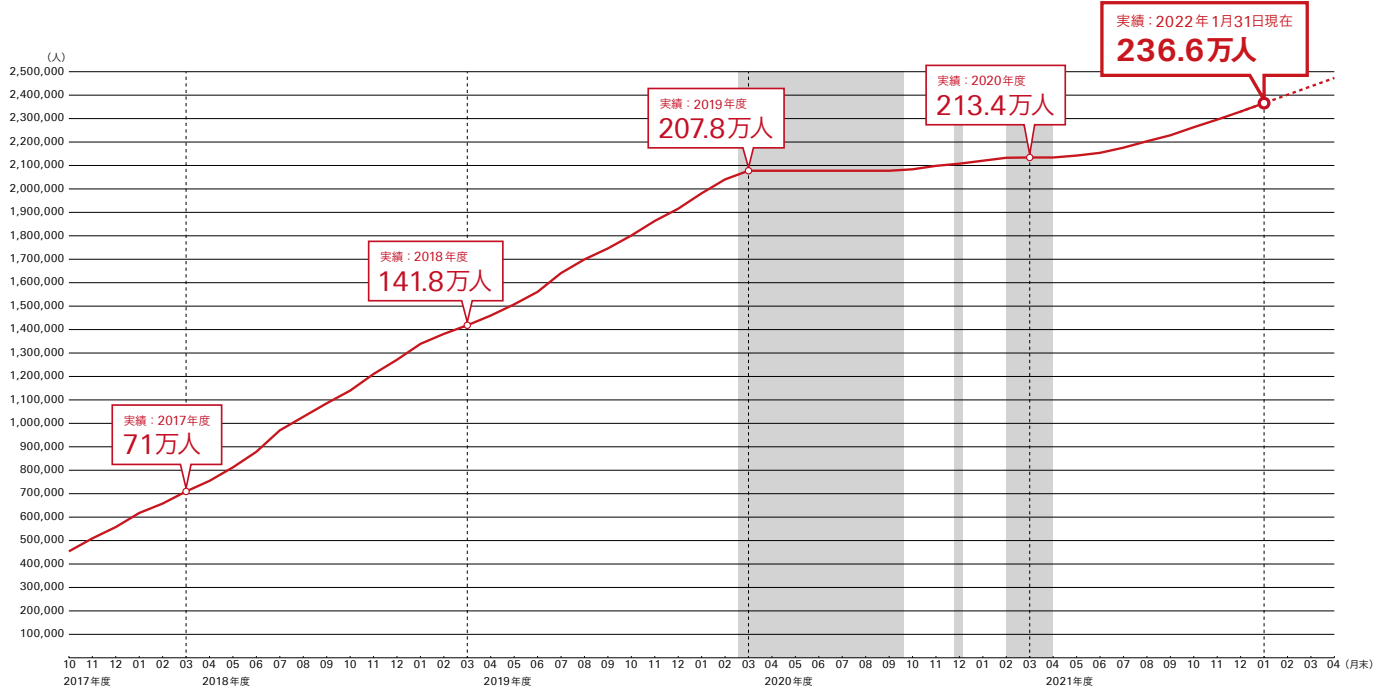
## 来館者数

### コロナ禍の来館者と JAPAN HOUSEの今後

JAPAN HOUSEは2017年のサンパウロに続き、2018年にはロンドン、ロサンゼルスが開館しました。以来、各拠点の来館者数は毎年ほぼ目標を上回り、順調に数字を伸ばしてきましたが、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるい始めた2020年3月以降は、各拠点とも現地当局の感染症対策に従い休館や開館時間の制限、入場者数制限など様々な制約の下での運営を余儀なくされたため、来館者数も大きな打撃を受けました。それでも3館の累計来館者数は(2022年2月現在) 390万人を超え、各都市で主要文化施設として定着しつつあります。

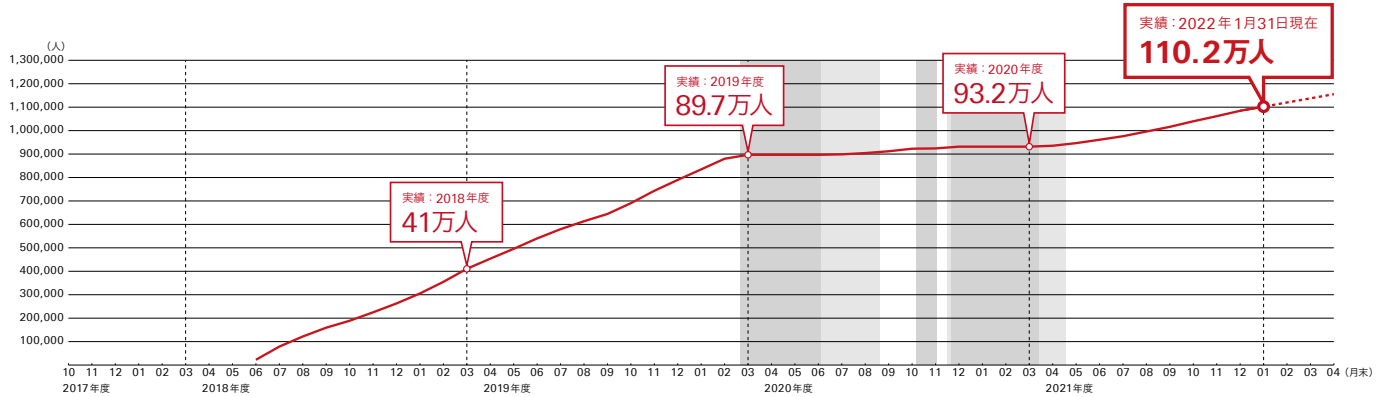
コロナ禍のため世界中で外出や人が集まるのが難しくなる中、JAPAN HOUSEはいち早くオンラインを活用した発信を始めました。例えば、日本各地の文化や魅力を旅行仕立てで紹介する「せとうち探訪」では、阿波踊りのオンラインでの実演とワークショップ、事前に送付された特産品キットで料理を作り、味わいながら日本の地域を疑似訪問する企画なども実施しました。これにより、家に居ながら五感で日本に出会う体験を提供することができました。他にも、企画展示のバーチャルツアーや有名シンクタンク・大学と連携したウェビナー等のはもはやJAPAN HOUSEコンテンツの定番となっており、いわゆる「バーチャル来館者」も増えています。また、リアルの展示においては、ポスト・コロナを見据え、人と人のつながりの再構築を表現する企画なども実施しました。

リアルとバーチャルのハイブリッド発信の定着に加え、最近では著名文化施設などから展示の横展開の要望も寄せられるなど、JAPAN HOUSEの訴求力のはもはや点ではなく、面での拡がりを見せています。日本への理解・共感を深める発信の舞台として、また、ビジネス／インバウンド機会の創出や知的交流を生み出すプラットフォームとして、進化しつつあるJAPAN HOUSEの更なる発展を目指したいと思います。



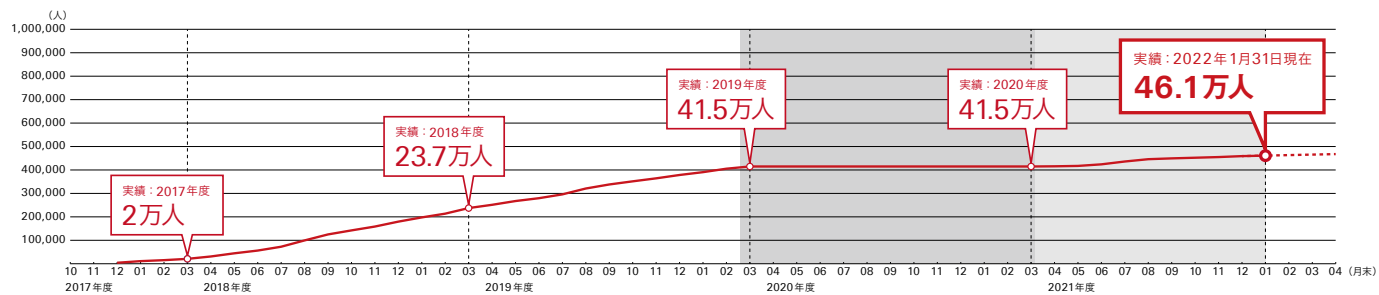
#### サンパウロ | 2017年4月開館

2020年2月には累計来館者数200万人を突破し、サンパウロ市内の主要な文化施設として定着。  
2021年度には東京2020大会を契機に、スポーツを通じた日伯交流を促進する企画も開催。  
障害者に配慮した施設のアクセシビリティを強化し、来館を促進。2022年度は、先端テクノロジーや科学技術も重視し、展示・デジタルを効果的に組み合わせ発信していく。



#### ロンドン | 2018年6月開館

コロナ禍による影響を受ける中、2021年9月には累計来場者が100万人を突破。  
リアルの展示に加え、日本の地方自治体、工芸家などとオンラインならではのセミナー企画も多数実施。また、2021年度はエジンバラでの展示も実施。  
引き続き質の高い意欲的な企画の実現を目指す。



#### ロサンゼルス | 2017年12月一部開館、2018年8月全館開館

全館開館後、着実に来館者数が伸長。2021年度もコロナ禍による制約の中での運営となったが、東京2020大会、現代アート、伝統文化・技術、映画、食など、オンライン発信も積極的に併用しながら魅力ある事業を展開。2022年度は地方自治体等とも連携した地域の魅力発信をはじめ、オールジャパンでの発信にこれまで以上に注力していく。

※ グラフは各月の末日の集計  
※ 新型コロナウイルス感染症対策による休館期間  
■ 全館休館 ■ 一部休館





2017年4月の開館から5年目を迎えたジャパン・ハウス サンパウロでは、これまで、建築、技術、食、ファッション、芸術など様々な日本の魅力をテーマに企画展示を展開。コロナ禍を踏まえ、展示(リアル)とデジタル双方の強みを最大限に活用した発信を行っています。また、多言語発信やブラジル国内外(クリチバ、ポルト・アレグレ、ベレン、アルゼンチン)での展示の横展開など、中南米への発信を強化しています。2021年度は現代日本の優れたパッケージングの展示や、書道家・金澤翔子氏による書道作品の展示から始まり、東京2020大会が行われた夏にはスポーツを通じて日本の文化やデザインを発信する「スポーツ・ラウンジ」という企画展示を行いました。9月からは、毛利悠子氏による現代アートのインスタレーションや、アーティストユニット「DAISY BALLOON」によるバルーンの展示、また、江戸硝子の繊細さや儚さを表現した展示を実施しました。

また、日本の政策・取組の発信については、日本の外交政策、東アジアの安全保障、経済・貿易、日伯宇宙協力、観光など多岐にわたるテーマについて、著名シンクタンクとも連携しつつ積極的にウェビナー等を実施しています。



ジャパン・ハウス ロンドンは2018年6月の開館以来、日本の伝統的な職人技から最先端の科学技術に至るまで幅広いテーマを扱った企画展示を行っています。コロナ禍を踏まえ、魅力あるイベントやコンテンツをオンラインでも展開。今年度はエディンバラでの展示も実施しました。

2021年度は、オリンピック関連として「Tokyo 1964: Designing Tomorrow」展を実施。画期的なスポーツピクトグラムや五輪エンブレム、建築、新幹線と経済社会発展など多岐にわたって、前回の東京大会から続くレガシーを意欲的に紹介しました。この他、日本の伝統工芸と新技術や様々な素材を組み合わせた「須藤玲子：NUNOの布づくり」展、国宝を歴史的重みの中で紹介する「西本願寺：オンライントーク・唐門見学」を行うとともに、秋からは地域の魅力発信として堺市をとりあげ、古墳や文化、伝統熟練技術から包丁の発達による食文化の変遷までを紹介するウェビナーをシリーズで実施しました。

また、日本の政策・取組の発信においては、日本の外交政策、東アジア政策、日英アフリカ協力、日英経済・貿易協力、宇宙研究・AI科学技術など多岐にわたるテーマについて、著名シンクタンクと連携したものも含め、積極的にウェビナー等を実施しています。





## JAPAN HOUSE LOS ANGELES



### ロサンゼルス

2018年8月に全館開館したジャパン・ハウス ロサンゼルスでは、エンターテインメント産業の中心地・ハリウッドという地域性を活かしつつ、映像、食をはじめ日本の魅力を多角的に伝えるコンテンツを展開してきました。日本の歴史に根差した各地の深い伝統や文化、価値観に触れつつ、人々が共鳴・共感し、自分のライフスタイルに日本を取り入れたいと思ってもらえるような発信を心がけています。

2021年度は、鬼頭健吾氏による現代アートのインスタレーション「RECONNECTING」(ポストコロナを見据え、人と人のつながりの再構築の姿勢も表現する企画)、日本独自の発展を遂げたイラストレーションの世界を紹介する「WAVE」、伝統文化に留まらず現代アート・ファッション・建築など多岐に展開する組紐の魅力を伝える「組紐」等の展示を実施しました。また各展示のバーチャル・ツアーや関連企画に加え、日本の発酵文化や日本茶に関する動画、建築、デジタルアート、映画等の専門家を招いたウェビナーなど様々なオンライン発信も実施しました。

さらに、日本の政策・取組の発信については、東アジアの安全保障、命のビザ・杉原千畝関連、気候変動・水素エネルギー、日米宇宙協力、観光・映画ロケ誘致など多岐にわたるテーマについて、著名シンクタンクと連携したものも含め、積極的にウェビナー等を実施しています。

## 巡回企画展と 各拠点での企画展



JAPAN HOUSEは、内容のしっかりとしたコンテンツを、常態的に受け入れる現地側の体制と、海外3拠点を情報発信拠点として活用しようとする日本側の能動性がかみ合うことでプロジェクトが形成されています。

3都市の拠点には、館長や局長がおり、現地では彼らが中心となり、施設運営の姿勢、開催する展覧会の吟味等において管理をしています。

ギャラリーで開催される展覧会は、日本での公募を経て選出された「巡回企画展」と各拠点で企画・制作された「現地企画展」があります。各都市の企画展は互いに利用し合い、生き生きとした情報発信力のある展覧会により日本と3拠点に脈動と連携が生み出されてきています。いずれの展覧会も、ハイカルチャーからサブカルチャー、ハイテクノロジーにも正面から向き合います。

### JAPAN HOUSE São Paulo

名誉館長：ルーベンス・リクペロ  
館長：エリック・クルッグ  
副館長・事務局次長：カルロス・アウグスト・ホーザ  
企画担当局長：ナターシャ・バルザーギ・ジーネン  
運営担当局長：クラウジオ・ハジメ・クリタ  
経理担当局長：ヒカルド・フェハス

### JAPAN HOUSE London

館長：マイケル・フーリハン  
企画局長：サイモン・ライト  
経営企画局長：キャロリン・バーネット  
マーケティング&コミュニケーションズ局長：ハイディ 伊佐

### JAPAN HOUSE Los Angeles

館長：海部優子  
事務局長：宮内祥男  
総務局長：ヒロコ・ジョンソン  
企画局長：メイヤー・マッカーサー  
名誉顧問：ラリー・エリソン



写真、漫画、工芸、テクノロジー、建築など  
さまざまな切り口から「窓」について紹介する展覧会。  
窓が果たす役割を解明するだけでなく、  
窓自体が文化を映し出すものとして捉えることで、  
日本の文化に新たな眼差しを向けます。

| 巡回スケジュール                       | 巡回地    | 来場者数               |
|--------------------------------|--------|--------------------|
| 2020年10月24日―2021年1月3日〈バーチャル展示〉 | ロサンゼルス | バーチャル展示継続中         |
| 2021年6月29日―8月22日               | サンパウロ  | 43,585人＋バーチャル展示継続中 |
| 2021年12月1日―2022年4月10日          | ロンドン   | 開催中                |



昭和期の経済成長を背景に、欧米諸国とは全く異なる  
独自の発展を遂げた日本のイラストレーション。  
現代および未来に活躍するクリエイティビティを結集し、  
日本のサブカルチャー文化の核ともなりうる  
今日のイラストレーションの魅力を世界へ伝える展覧会。

| 巡回スケジュール               | 巡回地    | 来場者数              |
|------------------------|--------|-------------------|
| 2021年9月18日―2021年11月28日 | ロサンゼルス | 6,422人＋オンライン展示継続中 |
| 2022年2月22日―5月1日        | サンパウロ  | 開催中               |
| 2023年6月―（予定）           | ロンドン   | ―                 |





シンビオシス：生きられた島  
Symbiosis: Living Island

企画者：  
Hasegawa Lab + SANAA

瀬戸内海の犬島で2008年から進められてきたアートとランドスケープのプロジェクトを紹介する展覧会。高齢化が進んだこの小さな島における活動を、地方活性化やエコロジーなどの視点から問いかける。アート、建築、さまざまなプログラムと、内外の人々との交わりから導かれる日本的な共生の美学を世界に発信する。

| 巡回スケジュール              | 巡回地    | 来場者数    |
|-----------------------|--------|---------|
| 2021年11月30日—2022年2月6日 | サンパウロ  | 76,636人 |
| 2022年5月—9月（予定）        | ロンドン   | —       |
| 2022年12月—2023年2月（予定）  | ロサンゼルス | —       |



KUMIHIMO:  
The Art of Japanese Silk Braiding by DOMYO

企画者：  
株式会社道明

組紐をテーマに、一条の紐に宿る魅力、潜在的な可能性を明らかにする展覧会。復元作品のアーカイブから紹介する歴史的展開、数学・工学系研究により導出される構造的特徴、そして現代のファッション、アート、建築など多彩な分野で活躍する才能と組紐の協働を総合し、古くて新しい組紐の魅力を伝える。

| 巡回スケジュール              | 巡回地    | 来場者数                |
|-----------------------|--------|---------------------|
| 2021年12月11日—2022年3月6日 | ロサンゼルス | 5,192人* +バーチャル展示継続中 |
| 2022年5月—8月（予定）        | サンパウロ  | —                   |
| 2023年2月—5月（予定）        | ロンドン   | —                   |

\*2022年1月末時点





企画展

スポーツ・ラウンジ  
～ Tokyo 2020 ～

2021年7月20日—9月12日

来場者数：50,466人

協力：公益財団法人 東京オリンピック・  
パラリンピック競技大会組織委員会

スポーツを通して日本の文化やデザイン・技術を  
発信。東京2020大会のスポーツ・ビクトグラムや  
新競技も紹介。更に日本人クリエイターによる  
オンライントークライブを実施。



井口皓太  
映像デザイナー／  
クリエイティブディレクター

Photo: 高橋健治



遠藤謙  
エンジニア



隈研吾  
建築家



佐藤直紀  
作曲家／編曲家



野老朝雄  
デザイナー



日置貴之  
スポーツビジネスコンサルタント／  
スポーツイベントプロデューサー／実業家



山口壮太  
スタイリスト／  
ファッションディレクター

企画展

バランス

2021年9月28日—11月28日

来場者数：68,501人

〈バーチャル展示継続中〉

コンテンツホルダー：Daisy Balloon

7,000個以上のバルーンを用いて制作したインスタ  
レーション。自然のサイクルからインスピレーション  
を得た作品を通して日々変化する必然的な時間の  
流れを表現。





JAPAN HOUSE SÃO PAULO 企画 2021年度

企画展

パッケージング：  
日本の現代デザイン

2021年1月19日—6月13日

来場者数：32,786人

〈バーチャル展示継続中〉

後援：公益社団法人 日本パッケージデザイン協会

現代日本の優れたパッケージを通し、デザインソリューション、サステナビリティやライフスタイルを紹介。日本の包む文化や精神性も表現。



企画展

DŌ (道)  
— 金澤翔子の道

2021年2月2日—7月4日

来場者数：35,938人

〈バーチャル展示継続中〉

コンテンツホルダー：金澤翔子

書家金澤翔子氏の希望に満ちたメッセージが表現された作品を通して、書道の美、歴史、伝統、現在の書道の在り方やコンセプトを紹介。



企画展

Parade (a Drip, a Drop,  
the End of the Tale)

2021年8月31日—11月21日

来場者数：83,731人

〈バーチャル展示継続中〉

コンテンツホルダー：毛利悠子

日本文化のひとつの側面である「はかなさ」や「無常」を感じさせるキネティックアートとサウンドアート。「用の美」を尊重し、日用品を用いたインスタレーションから普遍的な美を表現。



企画展

吹く  
— 日本の硝子デザイン

2021年12月15日—2022年3月6日

来場者数：集計中

協力：一般社団法人東部硝子工業会、岩澤硝子株式会社、菅原工芸硝子株式会社、田島硝子株式会社、東洋佐々木ガラス株式会社、中金硝子総合株式会社

江戸時代に誕生した硝子製法を継承し、熟練した技能工による「江戸硝子」の魅力を発信。伝統と現代のつながり、そして進化を紹介。





JAPAN HOUSE SÃO PAULO 企画 2021年度

|                        |                                       |                                                                            |
|------------------------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 動画配信                   | 2021年3月―6月(全8回)                       | ジャパンハウスの日本食レストラン藍染のシェフ                                                     |
| 白石テルマ氏による<br>食文化発信シリーズ | 再生回数：約24,000回* (全8回合計)<br>*2022年1月末時点 | 白石テルマ氏による日本食文化の動画シリーズ。<br>「切り方」「発酵」「煮込み」「おつまみ」「調味料」<br>「献立」「茶」「革新」をテーマに紹介。 |



|            |               |                                                                            |
|------------|---------------|----------------------------------------------------------------------------|
| オンラインイベント  | 2021年7月1日     | 日本の多様性を地域の視点から紹介するオンライン文化体験イベントのシリーズ第1弾として注目を集める瀬戸内海の東側4県（兵庫、岡山、徳島、香川）を紹介。 |
| せとうち探訪 第1弾 | ライブ視聴者数：約180人 |                                                                            |



|            |               |                                                                    |
|------------|---------------|--------------------------------------------------------------------|
| オンラインイベント  | 2021年10月21日   | 日本の多様性を地域の視点から紹介するオンライン文化体験イベントのシリーズ第2弾として、瀬戸内海の西側3県（広島、山口、愛媛）を紹介。 |
| せとうち探訪 第2弾 | ライブ視聴者数：約300人 |                                                                    |



|        |                              |                                               |
|--------|------------------------------|-----------------------------------------------|
| 動画配信   | 2021年4月5日                    | スピーカー                                         |
| 日伯宇宙協力 | 再生回数：約8,000回*<br>*2022年1月末時点 | 野口聡一 宇宙飛行士<br>マルコ・ポンテス 伯科学技術大臣<br>山田彰 駐ブラジル大使 |



国際宇宙ステーション搭乗中の野口氏から、日伯間の宇宙分野の連携についてこれまでの歩みと今後の展望に関するメッセージを発信。また、山田大使からは、日伯の長年にわたる友好関係に触れた上で、宇宙分野を始めとする科学技術分野での協力を促進して、日伯の絆を更に深めていく旨強調。このメッセージ動画は、CNNブラジルのニュース番組などでも紹介されました。

|                       |                                                  |                                                                                                 |
|-----------------------|--------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ウェビナー                 | 2021年11月11日                                      | スピーカー                                                                                           |
| プレゼンスが高まる<br>中国と日本の対応 | 視聴者数：約140人<br>共同企画：ジェトリオ・ヴァルガス財団 (FGV)<br>国際関係学部 | 道下徳成 政策研究大学院大学副学長<br>アレクシヤンドレ・ウエハラ 広告マーケティング<br>学院 (ESPM) 教授<br>モデレーター<br>ペドロ・ブリーチス FGV国際関係学部教授 |



道下副学長から、近年のアジア太平洋地域の安全保障環境の変化について、我が国の領土保全に係る問題も含め解説。日本の取組として、防衛力の強化、日米同盟の強化、インド太平洋地域における豪、印、ASEAN諸国等との協力強化について説明しました。

|                            |                                                  |                                                                            |
|----------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| ウェビナー                      | 2021年12月1日                                       | スピーカー                                                                      |
| アジア太平洋地域における<br>日本の貿易・投資政策 | 視聴者数：約100人<br>共同企画：ジェトリオ・ヴァルガス財団 (FGV)<br>国際関係学部 | 福永有夏 早稲田大学教授<br>カロリーナ・モレッキ FGV国際関係学部教授<br>モデレーター<br>ルアナ・ガイガー FGV国際関係学部研究助手 |



福永教授から、日本の経済外交の基軸が国際ルール順守、多国間主義、戦略的パートナーシップにあることを説明した上で、WTOや二国間・多国間協定等の役割について解説。また、貿易は安全保障、気候変動、保健などに関連しており、総合的な政策とインフォーマルな対処が必要である点、貿易紛争にはグローバル化やデジタル化なども背景に新たなアプローチが必要となっている点を指摘しました。



企画展

東京 1964

明日へのデザイン

2021年8月5日—11月7日

来場者数：67,716人

共催：日本スポーツ振興センター

協力：秩父宮記念スポーツ博物館・図書館、山下めぐみ、デビッド・フィリップス、セイコーホールディングス株式会社／セイコーミュージアム 銀座、東海旅客鉄道株式会社、National Paralympic Heritage Trust

1964年に開催されたオリンピック・パラリンピックを契機に、当時の日本の若きデザイナーや建築家たちがどのようにして日本のプロフィールを刷新し、世界に向けて新たなストーリーを発信し、いかにレガシーとして今に続いているかを紹介。



企画展

吉岡徳仁：東京2020

オリンピック・パラリンピック

聖火リレー torch

2021年7月13日—9月12日

来場者数：36,603人

吉岡徳仁氏がデザインしたトーチの展示。来場者は二つの視点からトーチを見るよう促され、正面から見る角度と、桜の断面のようなトーチ上部が見える角度でディスプレイ。



企画展

Tokolo Asao

「CONNECT」

Individual and Group

2021年7月17日—11月16日

来場者数：75,482人

東京2020大会のロゴマークをデザインした野老朝雄氏の「Connect」展を開催、同氏のデザインの特徴である幾何学模様をテーマにしたワークショップも実施。



ハイブリッドイベント

新幹線と1964年東京

オリンピックの遺産

2021年9月30日 来場者数：約40人

ライブ視聴者数：425人 再生回数：約1,200回\*  
\*2022年1月末時点

出演：上野直之 東海旅客鉄道株式会社ロンドン事務所（所長）、Professor Roderick A Smith, Imperial College London (Emeritus Professor of Railway Engineering)

1964大会との関連で新幹線に注目し、その進化と経済・社会発展の中での意味をエキスパートにより紐解くセミナー。



東海道新幹線開業出発式 東京駅1964年10月1日撮影 Photo: Transportation News Co.,Ltd.



## JAPAN HOUSE LONDON 企画 2021年度

### 企画展

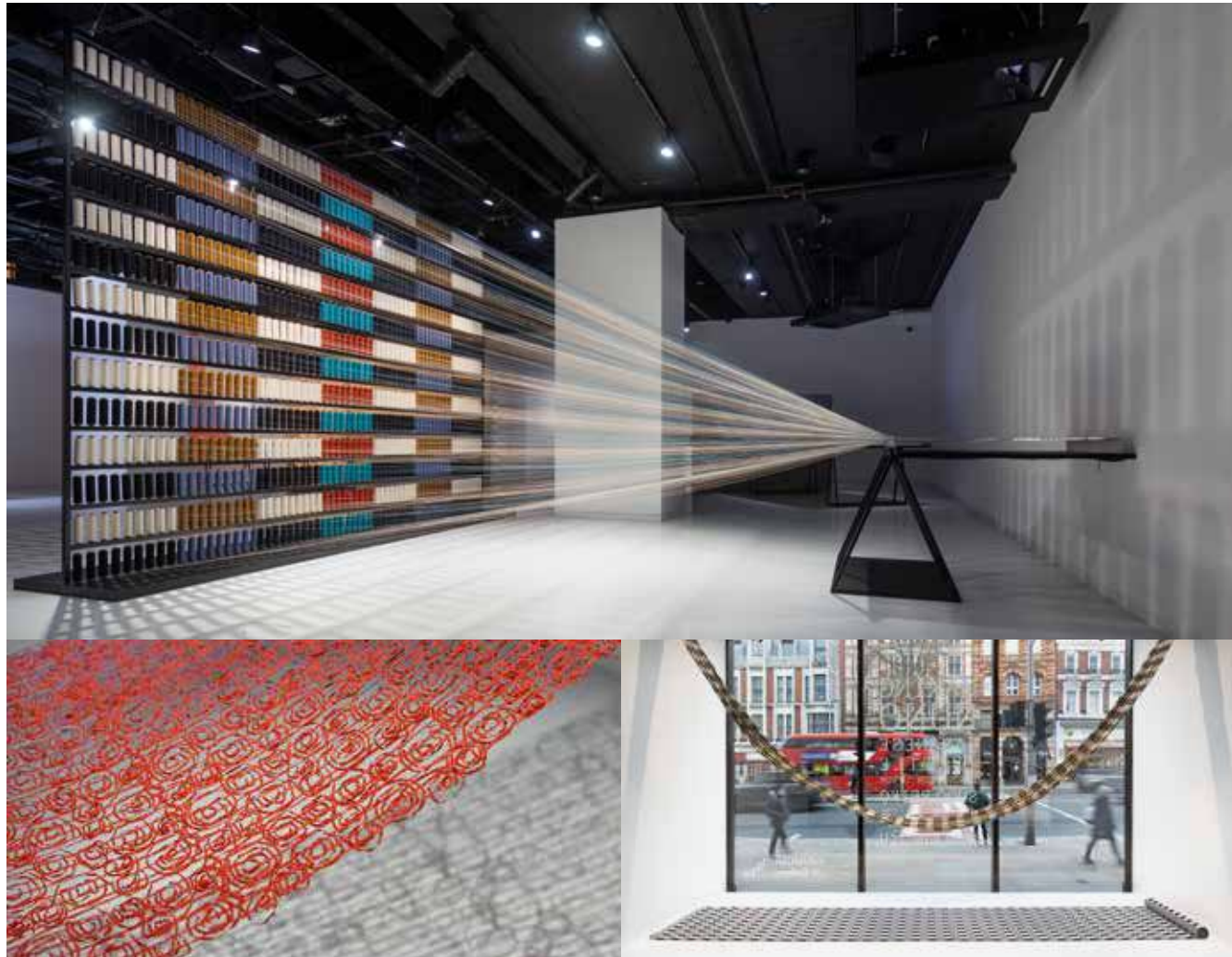
須藤玲子：  
NUNOの布づくり

2021年5月17日—7月11日

来場者数：27,955人

共同キュレーション：高橋瑞木（CHAT / Centre for Heritage,  
Arts and Textile エグゼクティブディレクター兼チーフキュレーター）  
アートディレクション：齊藤精一（パノラマティクス主宰）

展示は「キビソ」の利用やジャガード織、和紙、熱加工、化学溶解など、日本各地のさまざまな繊維素材や製造技術を紹介する5つのインスタレーションで構成。「布」作品の特徴である「持続性」の3つのテーマ、すなわち「地域生産」、「素材」および「伝統と職人技」を中心に紹介。



### イベント

犬のための建築  
ロードショー

2021年6月11日—18日（13日を除く）

2021年8月7日—8日

来場者数：938人

2020年ジャパン・ハウス ロンドンで実施した著名建築家・デザイナーによる「犬のための建築」展が好評を博したのを受け、再びロンドン市内で英国建築協会付属建築学校などのあるベッドフォード スクエアにて開催。



### オンラインイベント

日本とリバティ：  
氷室友里 スタジオ訪問

2021年7月29日

ライブ視聴者数：385人 再生回数：約1,000回\*

\*2022年1月末時点

出演：氷室友里 株式会社 HIMURO DESIGN STUDIO  
（代表取締役／テキスタイルデザイナー／アーティスト）、  
Mary-Ann Dunkley, Liberty（Design Director）

英国リバティの新コレクションに参画したテキスタイルデザイナーの氷室友里氏が英国老舗百貨店のデザイナーとテキスタイルやその技術について語り合うとともに、氷室氏のスタジオをバーチャル訪問した。



### オンラインイベント

堺市シリーズ：  
古の技術と産業遺産

2021年9月—12月（全4回）

ライブ視聴者数：1,126人 再生回数：約3,900回\*

\*2022年1月末時点

出演：白神典之／橋泉 堺市博物館（学芸員）、池田美和 池田鍛錬所（伝統工芸士）、山塚 光雄（伝統工芸士）、郷田光伸 株式会社 郷田商店（代表取締役）、長谷川優 株式会社 郷田商店（職人）、Simon Kaner; Executive Director for SISJC & CJS,UEA

堺市産業振興センターと共催で行った大阪府堺市の歴史、文化、工芸、産業遺産と分野別に探る4部構成のオンラインイベント。同時期には堺市の特産品である刃物等も販売。



### オンラインイベント

西本願寺：  
オンライントークと唐門見学

2021年10月28日

ライブ視聴者数：317人

再生回数：約870回\*

\*2022年1月末時点

出演：岡村 喜史 本願寺史料研究所（研究員）

英国キューガーデンでの日本祭りに合わせ、同公園内にある西本願寺唐門レプリカについて、そのオリジナルである京都西本願寺の唐門を歴史的背景や文化を含めオンラインで解説。





## JAPAN HOUSE LONDON 企画 2021年度

### ウェビナー

人工知能研究の最前線：  
理化学研究所革新知能統合  
研究センター（AIP）の挑戦

2021年7月13日  
ライブ視聴者数：約380人

スピーカー  
杉山将 理化学研究所革新知能統合研究センター長  
モデレーター  
セツ・ヴィジャクマール・エジンバラ大学教授／  
アラン・チューリング研究所AIプログラム・ディレクター



Photo: RIKEN AIP

杉山センター長から、人工知能（AI）研究にかかる日本の取組として、AIの社会実装に向けた研究の最前線を紹介。AI研究の核となる機械学習（ML）に関し、癌診断、地震予測、教育支援などへの応用について説明。特に自然災害や高齢者医療など社会課題への取組の重要性についても指摘しました。

### ウェビナー

ポストコロナにおける  
ソフトパワー外交

2021年12月2日  
ライブ視聴者数：約120人  
共同企画：王立国際問題研究所  
（チャタムハウス）

スピーカー  
渡辺靖 慶應義塾大学教授  
ソフィア・ガストン 英国外交政策グループ  
（BFPG）ディレクター  
モデレーター  
加納康宗 チャタムハウス客員研究員



ガストン氏から、コロナ禍においては、国家間の連帯が必要であるとの意識が、ソフトパワーを高めようとする機運につながっていると指摘。渡辺教授は、日本のソフトパワーの強化に貢献した東京五輪に言及し、亡命希望選手への対応などを含め人権や言論の自由を尊重する日本の姿を示す良い機会となったことなどを説明。また、日本が提唱している「自由で開かれたインド太平洋」が国際的に浸透しつつあり、対話の力こそが最も重要な日本のソフトパワーの一つであると指摘しました。

### ウェビナー

国際経済・貿易における  
日英協力

2022年1月19日  
視聴者数：約130人  
共同企画：王立国際問題研究所  
（チャタムハウス）

スピーカー  
森田イエーガー未奈子 サセックス大学  
英国貿易政策オブザーバトリー・フェロー  
クリストファー・デント エッジヒル大学教授研究員  
モデレーター  
マリアンス・シュナイダー＝ベツインガー・  
チャタムハウス・シニアリサーチフェロー



森田フェローから、日本が参加する環太平洋パートナーシップ（TPP）協定について、地政学的な戦略的観点も含め、その成立の経緯や機能、今後の見通しについて説明。日本は、市場主義経済国間でルールに基づく多角的貿易体制を強化するという観点から、英国の同協定への加入を歓迎していると指摘。デント教授は、日英は共に大陸との関係で影響力をコントロールする島国として共通点が多く、英国のTPP加入は日英協力の土台を更に強化すると述べました。

## JAPAN HOUSE LOS ANGELES 企画 2021年度

### 企画展

RECONNECTING:  
A Vision of Unity  
by Kengo Kito

2021年6月16日—9月6日  
来場者数：29,061人  
〈バーチャル展示継続中〉  
共同企画：鬼頭健吾

国内外で広く活躍する現代アーティスト鬼頭健吾氏によるフラフープのインスタレーション。鮮やかな色が空間を縦横無尽に浮遊し、見る角度によって異なる表情を見せる本展では、ポストコロナを見据え、人と人との繋がりを再構築しようという姿勢も表現。





# JAPAN HOUSE LOS ANGELES 企画 2021年度

## 企画展

### NATURE / SUPERNATURE

2021年2月15日— 5月31日

来場者数：2,392人

〈バーチャル展示継続中〉

協力：カリフォルニア州 ClaremontのScripps College

自然とそこに宿る神秘的な力をテーマとし、60点を超える日本の木版画、特に1830年頃から1930年頃の風景画を中心としたエキシビション。



## ウェビナー

### Rethinking of MA Webinar Series

2021年4月—2022年2月(全4回)

視聴者数：約1,800人(全4回合計)

出演：阿部仁史UCLA教授、ケン・タダシ・オオシマ  
ワシントン大学教授、工藤岳 (teamLab)、千葉学  
東京大学大学院教授、ブレイリー・スチュアート・  
ウルフ(フードライター)、濱口竜介(映画監督)

現代美術、建築、日本料理、映画の各分野から  
ゲストスピーカーを迎え、日本の「間(MA)」に  
ついて考えるウェビナーシリーズ。ハリウッドを踏  
まえ2022年2月には映画監督の濱口竜介氏も  
講演。



## 動画配信

### Fermentation Series

2021年5月27日／6月10日／6月30日

再生回数：約250人\*／約3,000人\*／約200人\*  
\*2022年1月末時点

監修：小泉武夫 東京農業大学名誉教授、  
金内誠 宮城大学教授

日本人シェフによるレクチャーやインフルエン  
サーのジャーダ・デ・ラウレンティス氏による  
発酵食ワークショップなど、日本の発酵食文  
化の魅力を紹介する映像シリーズ。



## ウェビナー

### The Secret of Sustainability in Business

2021年6月2日／9月15日／2022年2月22日

視聴者数：442人／293人／127人

出演：後藤俊夫100年経営研究機構代表理事、イーサン・  
バーンスタイン ハーバード・ビジネス・スクール准教授、茂木  
修 キッコーマン取締役専務執行役員、山本奈未 ヤマモト  
ヤマUSA CEO、道明葵一郎 有職組紐道明 代表取締役

ビジネスの持続可能性という観点から、日本の  
長寿企業よりスピーカーを迎え、その哲学やビジ  
ネスモデルを紹介し、理解を深めるウェビナー  
シリーズ。



Courtesy of Kikkoman U.S.A.

## 企画展

### Tokyo Olympic Paralympic Installation

2021年6月15日—9月6日

来場者数：29,192人

2021年夏に東京で開催されたオリンピック・パラ  
リンピックについて、1964年大会のレガシーとも  
言えるビクトグラムや東京2020大会を演出する日  
本らしい技術やデザインに注目した広報展示。



## 動画配信

### Japanese Tea Program

2021年8月10日／9月2日／9月29日

再生回数：約230人\*／約150人\*／約60人\*  
\*2022年1月末時点

日本茶文化について、日本茶の製法、産地の紹  
介、現代版の新しい日本茶の楽しみ方など提案  
する映像シリーズ。





|                           |                                                                |                                                                                      |
|---------------------------|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 企画展                       | 2022年3月18日—7月5日                                                | 著名なアーティストがデザインした美濃焼のラーメンどんぶり作品の展示を主軸に、日本のラーメンの歴史や地域性など、日本の食文化の一つであるラーメンと美濃焼の器の魅力を紹介。 |
| THE ART OF THE RAMEN BOWL | 開催中<br>〈バーチャル展示継続中〉<br>企画／監修：佐藤卓（グラフィックデザイナー）、橋本麻里（ライター・エディター） |                                                                                      |



|                                               |                                                  |                                                                       |
|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 動画配信                                          | 2021年7月2日                                        | スピーカー                                                                 |
| トランスポーティブ・ハリウッド・パワー：日本へのロケ誘致に関するマイケル・マン監督との対話 | 再生回数：約1,400回*<br>*2022年1月末時点<br>共同企画：JETROロサンゼルス | マイケル・マン 映画監督<br>武藤顕 在ロサンゼルス日本国総領事<br>モデレーター<br>海部優子 ジャパン・ハウス ロサンゼルス館長 |



日本で映画のロケを行った経験のあるマン監督と、日本でのロケの魅力や強化策等について議論。マン監督から、東京のナイトビューや建築物の素晴らしさ、更に日本の俳優、技術チーム、ヘアメイクアーティスト等の腕前が世界トップレベルである点、撮影クルーの情熱等につき紹介。また、ロケを誘致するためには、補助金制度や撮影許可の円滑化なども重要であると指摘しました。

|                    |                                                                 |                                                                                   |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 動画配信               | 2021年7月29日                                                      | スピーカー                                                                             |
| 命のビザ——「杉原ビザの日」制定記念 | 再生回数：約120回*<br>*2022年1月末時点<br>共同企画：日米文化会館（JACCC）、米国ユダヤ人委員会（AJC） | ロバート・ハーツバーク カリフォルニア州上院議員<br>古田肇 岐阜県知事<br>レオ・メラメド 米シカゴマーカンタイル取引所グループ名誉会長（杉原ビザ生存者）他 |



カリフォルニア州議会が7月29日を「杉原ビザの日」とする決議を採択したことに伴う記念企画。杉原千畝氏の「命のビザ」がユダヤ系コミュニティに与えた影響や功績について、各界要人や杉原ビザの生存者であるメラメド名誉会長等からのビデオメッセージを発信。また、リトアニアのカウナスにある「杉原ハウス」のバーチャルツアーも配信しました。

|                                |                                        |                                                                                                                                 |
|--------------------------------|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ウェビナー                          | 2021年 8月31日                            | スピーカー                                                                                                                           |
| 日米パートナーシップ：宇宙分野における二国間協力の現在と未来 | 視聴者数：約170人<br>共同企画：NASA ジェット推進研究所（JPL） | 田邊英介 防衛省戦略企画課長<br>蛇石一統 NEC第一宇宙システムグループ部長<br>袴田武史 ispace 社CEO<br>ラリー・ジェイムズ NASAジェット推進研究所臨時長官<br>モデレーター<br>海部優子 ジャパン・ハウス ロサンゼルス館長 |



© NASA / JPL - Caltech

ジェイムズ・ジェット推進所（JPL）臨時長官から、JPLの活動や地球観測プロジェクトにおける日本の宇宙航空研究開発機構（JAXA）との協力について紹介。田邊課長は、キラー衛星やスペースデブリの状況を監視する宇宙状況把握（SSA）等、防衛省の取組について米国との協力を含め説明。また、企業関係者が、バイオメトリックス技術やAI技術を活用した宇宙ソリューション、人類の活動を宇宙空間に拡大する構想等を紹介しました。

|                            |                          |                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ウェビナー                      | 2021年11月2日               | 基調講演                                                                                                                                                                                            |
| アジアにおける欧州の役割：大西洋とインド太平洋の連携 | 視聴者数：約90人<br>共同企画：ランド研究所 | アシュトン・カーター ベルファール 科学国際問題センター長（元国防長官）<br>パネリスト<br>鶴岡路人 慶應義塾大学教授、マシュー・デュシャテル 仏モンターニュ研究所アジアプログラム長、アレクサンドラ・サカキ 独国際安全保障問題研究所アジア部副部長、ペール・ノーウェンズ 英RUSIリサーチフェロー他<br>モデレーター<br>スコット・ハロルド ランド研究所シニア政治学研究員 |



Photo: U.S. Navy / Japanese Self Defense Forces

カーター・センター長から、アジア太平洋地域の安全保障には、欧州諸国が艦船の派遣を含め幅広い分野で一層の役割を果たすことが重要であると指摘。また、同地域の平和と安全には、幅広い国々のネットワークを通じた統合的な抑止力が重要であることなどについて、各国の専門家が議論を行いました。

|                         |                                    |                                                                                                                                                |
|-------------------------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ウェビナー                   | 2021年11月16日                        | スピーカー                                                                                                                                          |
| 水素エネルギーを活用した経済構造の構築に向けて | 視聴者数：約260人<br>共同企画：戦略国際問題研究所（CSIS） | 杉浦透 豊田通商アメリカ企業戦略ビジネス開発部シニア・マネージャー、イズミ・カイ JERA エナジー・アメリカ有限会社代表、ビル・エリック カリフォルニア燃料電池共同体事務局長<br>モデレーター<br>ジェーン・ナカノ CSISエネルギー安全保障・気候変動プログラム・シニアフェロー |



日米の企業関係者が、気候変動問題解決へ向けて汎用性の高いエネルギーとして注目されている水素エネルギーの活用について議論。その実用化のためには生産、運搬、流通、規制等様々な分野での調整、連携が指摘される中、日米のパネリストが、各分野で積み上げてきた実績を共有するとともに今後の連携の見通しについて意見交換を行いました。





# JAPAN HOUSE

## JAPAN HOUSE SÃO PAULO

Av. Paulista, 52 - Bela Vista,  
São Paulo - SP, 01310-000, BRASIL  
<https://www.japanhousesp.com.br/ja/>

## JAPAN HOUSE LONDON

101-111 Kensington High Street,  
Kensington, London W8 5SA, UK  
<https://www.japanhouselondon.uk/>

## JAPAN HOUSE LOS ANGELES

Hollywood & Highland 6801 Hollywood Blvd.  
Level 2 and 5 Los Angeles, CA 90028, USA  
<https://www.japanhousela.com/>

ジャパン・ハウス東京事務局（外務省戦略的対外発信拠点室）

クリエイティブ・アドバイザー 原 研哉

サンパウロ——株式会社電通

ロンドン——Japan H. L. Limited

ジョーンズ ラング ラサール株式会社（～ 2019 年 6 月）

ロサンゼルス——株式会社電通ライブ

株式会社 ESP（～ 2019 年 6 月）

[www.japanhouse.jp](http://www.japanhouse.jp)